

那覇中3年 古堅 弘脩君



第50回全国俳句大会ジュニアの部で優秀賞を受賞した那覇市立那覇中学校3年生の古堅弘脩君＝6日、那覇市松山的那覇中学校

全国俳句大会ジュニア 優秀賞

さびしさがつぶやきにでる五月かな



第50回全国俳句大会(俳人協会主催)の受賞者が6日に発表され、那覇市立那覇中学校(安次富功校長)3年生、古堅弘脩君(14)の「さびしさがつぶやきにでる五月かな」と感じた気持ちを句「な」がジュニアの部の優秀賞に輝いた。同部は今回新設された部門。優秀賞は全国の小・中・高校生1万8100人から寄せられた約2万9千句の中から19人19句だけだった。県内から唯一選ばれた。受賞作について古堅君は「5月ごろは雨ばかり降っていて、外で友達と一緒に遊ぶことができなかった。一人で寂しいな」と感じた気持ちを句にした」と説明。県内からはただ一人受賞したことに「ぼつと浮かんだ内容を書いたので、ここまで高く評価されるとは思わなかった。とてもうれしい」と笑顔で喜んでいた。国語担当の比嘉麻希先生は「普段から自分の考えをしっかり持っている。それが表現されたいい句だ」と評価した。応募作の中で優れた作品の割合が高かった学校に贈られる学校賞(全国7校)に那覇市立上山中学校、奨励賞(同5校)に浦添市立仲西中学校が輝いた。

第50回全国俳句大会(俳人協会主催)の受賞者が6日に発表され、那覇市立那覇中学校(安次富功校長)3年生、古堅弘脩君(14)の「さびしさがつぶやきにでる五月かな」と感じた気持ちを句「な」がジュニアの部の優秀賞に輝いた。同部は今回新設された部門。優秀賞は全国の小・中・高校生1万8100人から寄せられた約2万9千句の中から19人19句だけだった。県内から唯一選ばれた。受賞作について古堅君は「5月ごろは雨ばかり降っていて、外で友達と一緒に遊ぶことができなかった。一人で寂しいな」と感じた気持ちを句にした」と説明。県内からはただ一人受賞したことに「ぼつと浮かんだ内容を書いたので、ここまで高く評価されるとは思わなかった。とてもうれしい」と笑顔で喜んでいた。国語担当の比嘉麻希先生は「普段から自分の考えをしっかり持っている。それが表現されたいい句だ」と評価した。応募作の中で優れた作品の割合が高かった学校に贈られる学校賞(全国7校)に那覇市立上山中学校、奨励賞(同5校)に浦添市立仲西中学校が輝いた。